

# 夏休みに上達しよう！ 子どもヒップホップジャズダンス講座

# いきいきひろば

苫小牧市文化交流センター（本町1）は7月27～29日に開かれる「夏休み子どもヒップホップジャズダンス講座」の受講生を募集しています。

苫小牧市内でジャズダンス教室「J DANCE STUDIO Step's」を主宰する門田千恵さんを講師に迎え、毎年夏・冬休みに小学生を対象に開講する人気の講座。簡単なステップなどを取り入れ楽しみながら1曲をマスターし、最終日にステージでミニ発表を行います。開講時間は27日が午後1時半～同3時半、28、29日は午前10時～正午。

申し込みは直接窓口（午前9時～午後9時）または希望講座名と住所、電話番号、氏名、性別、学校名、学年、保護者氏名を記入し、ハガキで〒053-0025 苫小牧市本町1丁目6の1 苫小牧市文化交流センター講座係へ。ファクス0144-33-8133、ホームページhttp://ivyplaza.roukyou.gr.jp/からも受け付けています。受講料無料で、保険料50円とハガキ代62円が必要です。小学3年生以下は保護者同伴。受付は6月30～7月14日。問い合わせは文化交流センター（☎0144-33-8131）へ。



◀「夏休みにダンスを楽しんで」と呼び掛ける市文化交流センターのスタッフ



▲昨年の講座より

## 5本の弦から優しい音色 白老でトンコリ演奏体験



▲歌いながら練習する参加者たち

しらおいイオル事務所チキサニ（白老町末広町2）で6月9日、「トンコリ演奏体験」が行われ、9人の町民が参加しました。

「トンコリ」は、主に樺太に住んでいたアイヌ民族が古くから使用してきた弦楽器。5本の弦を指で弾いたりかき鳴らして、祝い事などの歌や踊りの伴奏として演奏されてきました。

参加者たちは緑丘保育園（白老町緑丘1）に勤務する山内絵美莉さん（21）指導の下、伝統曲の「ケヘケヘタノパイェアン」と「トーキトララン」の2曲を練習。最後は全員で演奏することができました。

山内さんは小学4年生のときにトンコリに出会い、それ以来、「トンコリを弾かない日はない」というほどの愛好家。町内のアイヌ文化フェスティバルにも2回出演経験があり、「歌と一緒に楽しめる楽器。5本の弦だけで、いろいろな音を奏でられる」と笑顔でその魅力を話していました。

## うとないまるしえ 手作り雑貨やグルメ楽しむ



▲見るだけでも楽しい雑貨店

苫小牧市植苗の道の駅ウトナイ湖で6月2、3日の両日、手作り雑貨イベント「うとないまるしえ」が開かれました。

2012年秋から年2回開かれている人気イベント。12回目となる今回は、苫小牧や札幌、室蘭などから布小物や木工品、アクセサリーなど手作りの店が各日25団体、計50団体が出店しました。フードコーナーではザンギや焼きたてパン、バームクーヘンが人気を集めました。

ウクレレやバンド演奏、苫小牧青翔中学校吹奏楽部演奏などのステージ発表も。初日は夕張市のご当地キャラクター「メロン熊」が登場し、来場者の頭をかじるなどのパフォーマンスで会場を大いにわかせました。



◀ステージには様々なバンドが出演

## みょうけんじ文庫で 「おたのしみ劇場ガウチョス」公演

札幌を拠点に活動する人形劇団「おたのしみ劇場ガウチョス」の公演「月夜とめがね」が7月15日午後7時から、苫小牧市音羽町の妙見寺内のみょうけんじ文庫（末澤香代表）で開かれます。

同劇団はオリジナルのマリオネット人形を使い、子どもから大人まで楽しめる作品を各地の保育園や幼稚園、小学校、劇場などで公演を行っています。メンバー2人で人形作りから脚本、舞台美術、照明、音響まですべてを手掛けています。

小川未明の作品「月夜とめがね」は、月のきれいな穏やかな夏の夜、おばあさんのもとを風変わりなメガネ売りや少女が訪れ、不思議な体験をする物語。人形の細やかな動きや表情など、詩情あふれる舞台作りは高く評価され、2006年には同作品で札幌人形劇祭特別賞を受賞しました。同文庫での上演は一昨年に続き2度目で、末澤代表は「また観たいと要望が多かった作品。大人も楽しめるので、多くの人にきてほしい」と話しています。

対象は小学生以上で、入場料は大人1,000円、中学生以下500円。定員は40人。希望者は7月12日まで申し込みを。問い合わせはみょうけんじ文庫の末澤さん（☎090-1762-7242）へ。



◀「大人も楽しめる公演」とPRする末澤さん